

学校適正規模・適正配置に関するアンケート調査について

1 調査の目的

小中学校の適正配置等に関するアンケート調査を行い、保護者や地域の方々等の考え方や意識を把握し、審議会での議論を充実させ、学校適正規模・適正配置に関する方向性、基本方針の策定のための調査審議のため、アンケート調査を実施するもの。

2 調査の対象者

- (1) 地域一般町民 無作為に抽出した町内にお住まいの方（約 1,000 人）
- (2) 中学生以下の児童生徒の保護者
（保育園：200 人、幼稚園 250 人、小学校：約 850 人、中学校：約 560 人）
- (3) 教職員（約 170 人）

3 調査の項目（教職員を除く。）

区分	設問内容	設問目的
回答者の属性	年齢	回答者の属性を把握し、各設問を分析するための基礎指標とする。
	居住している学区地区	
	子どもの状況（保護者のみ）	
小学校、中学校の適正規模に関する意向	望ましいと思う 1 学年あたりの学級数	適正規模に関する意向を把握する。
	望ましいと思う 1 学年あたりの学級数の理由	
	適正だと思う 1 学年あたりの人数	
	部活動に関すること（中学校のみ）	
学校環境等に関する意向	校舎の老朽化への対応	教育環境に係る意向を把握し、基本的な考え方の検討に活用する。
	学校の小規模化に対する対応	
	学校への通学方法に関すること	
	学校の規模に関すること	
	学校に期待すること	

(情報提供)

<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の施設に関すること ・改修等施設に掛かる費用 ・校舎の安全性 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童及び生徒に関すること ・児童生徒数の推移 ・通学距離、時間 ・部活動の状況
---	---